

## 第2回丹後管内二級河川流域治水協議会の開催結果

■開催日時：令和3年6月4日（金） 15：00～16：10

■開催方法：Web 会議<zoom>

■参加者：8名（別表参照）

### 結 果

■流域治水の推進に向けた取組の状況、二級水系における流域治水の取組及び今後の進め方について情報共有を行い、今後、流域治水プロジェクトをとりまとめていくこととなった。

### 主な発言内容

#### 【開会挨拶（京都府建設交通部長）】

- ・流域治水は社会全体で進めていくもの。現在、野田川や竹野川などにおいて計画的に河川整備を進めているもののハード整備には時間を要する。整備が進んだとしても、計画を超過する降雨も想定され、被害を軽減するために流域治水の考えを取り入れていく必要がある。
- ・二級河川においては、大河川に比べ、流域における貯留は効果が大きいと考えられる。すでに対応済みの自治体もあると思うが、総論では流域治水を進めることに賛成となったとしても、個別具体の対応策の調整は難しいものである。流域治水の多くは他部局の協力が必要なものや企業の協力があって成立するものとなっている。
- ・当協議会に各機関が集まり、施策を体系的にまとめ、実行できるようすることが重要である。国も法改正・予算措置など後押しできる準備をしている。
- ・流域治水に関する施策を束ね、計画的に進めることで、国からの支援も受けやすくなる。市町の取組について、本府としても支援していきたい。

#### 【意見交換】

##### 〈京丹後市〉

- ・流域治水は本市にとってとても重要で望まれる事業である。多数の二級河川を抱える本市としては、面的な視野で防災・減災に対処するとともに、まちづくりとして重要なものとする。
- ・今回、丹後地域の対象6水系のうち4水系が本市に流域を持ち、この他にも6、7水系の二級河川を有しており、風水害の折りにはどのように防災・減災対策を行うかが課題。
- ・これまで河川整備に注力してきたが、流域治水の考え方のもと面的に捉え、水源となる森林や、農業地域、まちなかとセットで考えることは理にかなっていると思う。
- ・平成29年、30年の台風・豪雨災害時には、床下浸水など多くの被害が生じ、京都府からも多大な協力をいただいた。流域治水は、防災・減災に必要なものであり、京都府と一緒に進めたい。
- ・今回該当する二級水系については、流域治水プロジェクトを進めフォローアップした上で、他の水系についても早急に進められるよう、支援願いたい。

##### 〈伊根町〉

- ・平成 29 年に筒川が氾濫し、甚大な被害を受けた。現在、京都府が中心となり整備が進められている。
- ・その他の河川についても、洪水浸水想定区域が策定された。今後、ハザードマップを作成し、町民への啓発を進めていきたい。

#### 〈与謝野町〉

- ・平成 16 年の野田川の氾濫後、京都府の協力のもと整備が進み、面的な被害は低減できた。最近では、住民一人一人に対し、川のことを知ってもらう機会を作ってきた。
- ・ハード・ソフトの両面から地域づくりの一環として流域治水に取り組んでいきたい。

#### 〈京都府丹後広域振興局 地域連携・振興部〉

- ・避難行動を確実に行っていただくためには、地域の自主防災組織によるタイムラインの作成が非常に有効であることから、専門家の派遣などの作成支援など引き続き協力していきたい。
- ・今回策定する流域治水プロジェクトについても、タイムライン作成といったソフト面をしっかりと書き込んでいく必要がある。

#### 〈京都府丹後広域振興局 農林商工部〉

- ・ハード対策として、防災重点農業用ため池については毎年現場で点検調査を実施し、早急な改修が必要な箇所を計画的に改修している。また、ソフト対策として、地域住民と一緒に避難場所や緊急連絡体制を確認しながら、ため池のハザードマップを作成するなど、ハード・ソフト両面での取組を進めている。
- ・災害に強い森づくりを推進するため、間伐などの森林整備や治山ダムの設置による治山対策を実施している。
- ・流域治水の取組を皆様と連携して進めていきたい。

#### 〈京都府丹後広域振興局 建設部〉

- ・丹後管内の二級水系の内、6水系35河川については河川整備計画に基づき、河川改修事業に取り組んでいるところ。この内、大手川水系については、一定整備が完了したところである。また、緊急浚渫推進事業を活用し、河川内における堆積土砂対策を効率的・効果的に実施している。
- ・洪水浸水想定区域図は概ね策定・公表しているが、残る2水系5河川について今年10月を目標に公表する予定としている。各市町にはこれらのデータを元に、ハザードマップによる住民への周知を図っていただくとともに、防災カメラや簡易型水位計等の観測データを活用し、防災活動に役立てていただきたい。
- ・流域治水プロジェクトにとりまとめて施策展開することは大変有意義であり、皆様と連携することによって効率的・効果的な治水安全度の向上・加速化につなげていきたい。

#### 〈京都府港湾局〉

- ・丹後地域においては、宮津港、久美浜港を管理している。流入する河川の河口部において、流域治水への取組に参画していきたい。
- ・洪水による土砂流出により、河口部に土砂が堆積し、治水安全度を下げていることは課題と考える。
- ・河口部の堆積土砂撤去は、港湾施設や航路がないと手が出せないところではあるが、河川管理者や市町と連携・協力しながら検討を進めたい。

#### 〈京都府建設交通部長〉

- ・水害に強いまちづくりを進めるにあたり、水源地域の管理、ため池の整備などの他、都市計画や住

宅政策などについても手を加えることで、流域治水への効果が成り立つこともある。

- ・時間も費用もかかることではあるが、地域の実情も見ながら、市町とも協力しながらしっかり議論していきたい。

#### 〈事務局〉

- ・これまで取組んできた総合治水に対して、流域治水は、様々な関係者が関わって取組まれるというのが大きな違いである。行政だけでなく、住民や企業などが主体となった取組を促していくために何ができるかなど、今後一緒になって議論を進めていきたい。

#### 【質疑応答】

##### 〈京丹後市〉

- ・由良川流域治水プロジェクトの取組事例が添付されているが、流域治水を展開する上で、参考になる。さらに、由良川以外における事例集もあれば参考になると感じている。

##### 〈事務局〉

- ・他水系の事例など、参考になるものがないか調べ、提示したい。

(別表)

機関名	職名	氏名	備考
宮津市	市長	城崎 雅文	欠席
京丹後市	市長	中山 泰	
伊根町	町長	吉本 秀樹	
与謝野町	町長	山添 藤真	
京都府丹後広域振興局 地域連携・振興部	部長	水嶋 式行	
京都府丹後広域振興局 農林商工部	部長	宮田 英樹	
京都府丹後広域振興局 建設部	部長	米田 均	
京都府港湾局	局長	三島 理	(代理)港湾企画課長:秋田 伸治
京都府建設交通部	部長	富山 英範	